

環境負荷物質削減の取り組み

基本的な考え方

工場からの排気・排水による万一の水質汚濁、大気汚染や土壌汚染などは、周辺の地域社会にとって脅威になります。ミネベアミツミグループでは、地域との共存が事業活動において不可欠であるとの考えから、環境負荷物質の削減に取り組んでいます。

2017年度の取り組み結果

ミネベアミツミグループでは、各国、各地域の環境法令を遵守するために、工場排水などにおいては、国や周辺地域の法令基準より厳しい自主基準値を設定し、日々の監視を行っています。2017年度は当社グループのすべての工場で、漏洩や異臭、騒音、振動など周辺地域に迷惑をかけぬよう、日常の監視や環境パトロールを一層強化しました。

事業所における取り組み

工場排水の浄化

ミネベアミツミグループでは、排水を河川に放流する際、工場保有の排水処理設備で基準値内まで浄化しています。また、各国および所在地域の法令に従って、排水中のpH^{*1}、COD^{*2}、BOD^{*3}、SS^{*4}、ノルマルヘキサン抽出物質^{*5}などを定期的に測定し、自主的に工場排水の監視を行っています。

- ※1 pH(ピーエッチ):酸性がアルカリ性を示す尺度。pH7が中性。7より小さいほど酸性が強く、7より大きいほどアルカリ性が強い。
- ※2 COD(化学的酸素要求量):水中の有機物(汚れ)を酸化剤によって酸化するのに消費される酸素量。BOD測定と比べ短時間に測定できるが、信頼性は劣る。CODは一般的に海、湖沼への排水管理に用いられる。
- ※3 BOD(生物化学的酸素要求量):水中の有機物(汚れ)を微生物が分解するとき必要とする酸素量。BODが大きいほど水質は悪い。測定に数日を要する。BODは一般的に河川への排水監視に用いられる。
- ※4 SS(懸濁物質):水中に浮遊している物質の量。数値が大きいほど水質汚濁が著しい。
- ※5 ノルマルヘキサン抽出物質:水に含まれる揮発しにくい油や洗剤などを、ノルマルヘキサンという薬品で抽出した物質。当報告書では鉱油量を表す。

海外工場の環境パトロールの実施
(タイ、中国、マレーシア、カンボジア)

ミネベアミツミグループでは、日本のグループ環境管理部メンバーが定期的に海外工場を訪問し、現地の環境管理メンバーと合同で環境パトロールを実施しています。

2017年度は、タイ、中国、マレーシア、カンボジアの各工場で合同の環境パトロールを実施しました。

一部の廃棄物置き場において若干の管理不足が確認されましたが、パトロール後、即日改善されました。



タイ・ロップリ工場の危険物倉庫

廃棄物処理場の視察(日本、タイ、中国ほか)

各工場、事業所から排出される廃棄物には、それぞれの工場、事業所内でリユース、リサイクルが難しいものがあります。こうした廃棄物は廃棄物処理業者に委託し、処分しています。

ミネベアミツミグループでは、信頼できる処理業者を選定し、処分を委託するとともに、定期的に処分場へ赴き、その処理、管理状態などの視察もしています。廃棄物の処理工程において、土壌、水質、大気などへの環境汚染を引き起こさないよう、今後も処理業者と協力し、取り組んでいきます。

タイ工場では、2017年8月に汚泥などの埋め立て処分を行うGENCO社のRatchanburi工場を視察しました。

今後の目標・課題

ミネベアミツミグループは、引き続き国内外の環境法令を遵守した事業活動を行うとともに、過去に発生させた環境汚染について、対策を進めていきます。

2018年7月20日にプレス発表した通り、当社は岩手県にある旧一関工場の土壌浄化対策を2011年中に完了していましたが、この度建屋解体に備えてあらためて調査を行ったところ、敷地内の一部に環境汚染物質が残っていることが判明しました。当社は、この問題につき、直ちに対策工事を実施することを決定しました。